

Appeon PowerServer 2019 MR Build 2199.00 – 2019 2032.00 からの Bug Fix

この MR には、次の機能変更または機能強化が含まれています。

- 元号がフルサポートされました。
- エンドユーザーは、プラグインのインストール時に Appeon セットアッププログラムを使用して、マルチブラウザプラグイン用に一意の自己署名証明書を生成するかどうかを選択できます。
- Appeon アプリケーションパッケージツールが、Android API level 28 をサポートする Android アプリを生成できるように強化されました。
- Appeon アプリケーションパッケージツールが、Xcode 10 でコンパイル可能な Xcode プロジェクトを生成できるように強化されました。
- PowerServer Web アプリケーションで元号設定が INI ファイルから検出されない場合は、Windows レジストリを読み取り、日本語用日付形式を表示します。
- “Workspace の自動更新をサポートする” と “Workspace の更新を確認する” 両オプションが “オフ” の場合、Appeon アプリケーションパッケージツールは、自動アップグレードスクリプトなしで Xcode プロジェクトを生成し、App Store に正常に公開できます。

-
- (BugID: N/A) システムが “gg yy/MM/dd” 日本語用日付形式の場合、テストモードで日付パラメーターを使用してデータを取得すると、エラーが発生します。
 - (BugID: N/A) “eon_mobile_deviceex” と “eon_mobile_awsex” は、新しい iOS デバイスでは機能しません。
 - (BugID: 2231) 28 桁 Decimal を使用した場合、グラフデータウィンドウは機能しません。
 - (BugID: 3328) ドロップダウン データウィンドウに末尾がスペースとなる値を入力した場合、ドロップダウン データウィンドウカラムの取得または選択時に有効な値が表示しません。
 - (BugID: 1569) 日付形式が標準ではない場合、Android 上のデータウィンドウ内で日付有効時にエラーが発生します。
 - (BugID: N/A) モバイル上でデータウィンドウの edit.password プロパティを動的に変更できませんでした。

- (BugID: 2235, 3527) パッケージツールでは、デフォルトではなく別の keystore ファイルを使用した場合に、Android APK ファイルを作成できませんでした。
 - (BugID: N/A) PrintScreen() 関数を使用して作成された PDF ファイルは内容が表示されませんでした。
 - (BugID: N/A) アプリケーションのデプロイやパッケージ化する場合、HTTPS 経由で PowerServer に接続できませんでした。
 - (BugID: N/A) サーバーにデプロイメントプロジェクトをパッケージ化する場合、Web サーバプロファイル設定に “FTP over TLS/SSL を使用する” オプションがありません。
 - (BugID: 3659) PowerServer Toolbar によってパッケージ化された Android アプリは、すべての Android 9 デバイスで同じデバイス ID を取得します。
 - (BugID: N/A) “eon_mobile_mapex of_addannotation” および “of_selectannotation” 関数は、マップの精度をリセットします。
-